

■伊勢大輔 歌人。'古の奈良の都の八重桜けふ九重に匂ひぬるかな'でたちまち歌才が知れわたった。

いせのたいふ

尾張国守罷免 989=

生没年不詳であるが、この頃、生まれたと考えられる。大輔はたいふとも読む。大中臣輔親の二女。大中臣家は神祇官を世襲し、輔親は伊勢神宮の祭主であり、大輔は父の官名に由来する。曾祖父頼基・祖父能宣(「後選集」の選者)・父輔親とみな歌人として知られる家に育ち、

花山法皇事件 996= 7歳 :

..... 998= 9歳 :

..... 1007=18歳 :

源氏物語始 1008=19歳 : この頃、\*上東門院彰子に女房として出仕。この際、奈良の僧から八重桜を贈られ、'古の奈良の都の八重桜けふ九重に匂ひぬるかな'と詠み、この1首でたちまちその歌才が知れわたった。

「紫式部日記」にあるように紫式部と清水寺に籠って歌を贈答し、和泉式部がはじめて宮仕えに上った時にはともに一夜を語り明すという交遊を経ながら、赤染衛門・相模らと肩を並べて活躍する。

式部大丞高階成順と結婚し、康資王の母・源兼俊の母・筑前乳母ら2男5女を生む。

御一条天皇 1016=27歳 :

三后鼎立 1018=29歳 :

..... 1025=36歳 : 成順は筑前守として任国に下向、

藤原道長没 1027=38歳 :

任果てて上洛したのち石山寺に籠り出家し、乗蓮と名のる。

伊勢大輔の女房歌人としての活躍は歌合の場などに見事に発揮され、

..... 1032=43歳 : \*「上東門院菊合」に左の頭をつとめる。以後、公私の歌合に活躍。

..... 1034=45歳 :

成順は、居宅を堂として長日の法華講を開き、8年余念仏三昧の生活を送り、

..... 1038=49歳 : 父輔親が85歳で死去したのに前後して死去。  
以後、山里に籠って在家の尼として静かな生活を送るなか、

..... 1041=52歳 : 「弘徽殿女御十番歌合」、

..... 1043=54歳 :

..... 1049=60歳 : 「内裏歌合」、

..... 1050=61歳 : 「祐子内親王家歌合」、

前九年の役始 1051=62歳 :

末法思想始 1052=63歳 :

平等院鳳凰堂 1053=64歳 : 白河天皇が誕生し、傳育の役に任じられた。

..... 1056=67歳 : 「皇后宮春秋歌合」など、この頃まで、歌合で妍を競った。

..... 1060=71歳 : \*志賀僧正90歳の賀歌を最後に、

..... 1061=72歳 :

前九年の役終 1062=73歳 : この頃、没したものと推定されている。  
「後拾遺集」以下の勅撰集に51首、「伊勢大輔集」に200余首収められ、鴨長明が高く評価している。娘たちも「後拾遺集」の歌人として知られ、特に康資王の母の歌名は高い。